

横浜エフエム放送株式会社
番組審議会報告書

開催年月日	令和元年7月18日 木曜日 15時00分～15時50分
出席者	番組審議委員：宝田博士委員長、岡崎三奈副委員長、品田英雄委員、 中村由利子委員、横尾典克委員、長谷川篤司委員 FMヨコハマ：久富一雄取締役編成部長、藤木奈々編成部員、小林信子 編成部マネージャー
議題	「特別番組 知的障がい者サッカーチーム “横浜F・マリノス フトゥーロ” 夢へのキックオフ」 (2019年5月26日(日) 20:00～21:00)
議事の内容	前回（令和元年6月20日開催）の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの 放送がなかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを 報告しました。そして、議題の番組について、放送同録CDを聴いた後、 各委員から感想、意見等を聞きました。
審議の内容	まず、議題の「特別番組 知的障がい者サッカーチーム “横浜F・マリノス フトゥーロ” 夢へのキックオフ」について、概要説明に入りました。
タイトル	特別番組 知的障がい者サッカーチーム “横浜F・マリノス フトゥーロ” 夢へのキックオフ
放送時間	2019年5月26日(日) 20:00～21:00
放送形態	録音番組
出演	光邦(ナレーション)
企画内容	横浜F・マリノスの知的障がい者サッカーチーム「フトゥーロ」。 チーム名の「フトゥーロ」とは、スペイン語で“未来”。 将来的に、このようなサッカーチームが当たり前のように存在する “未来に向けて・・・”といった意味が込められています。2004年にチームが 結成されて今年で15年。横浜F・マリノスが、2002年の「日韓ワールド カップ」をきっかけに、「もっとヨコハマのサッカーを盛り上げていこ う！」というプロジェクトの中で「障害のある方にもサッカーを楽しんで ほしい」という思いから、日産スタジアム隣の障がい者スポーツ文化セン ター横浜ラポール、横浜市体育協会とタッグを組み、2004年にJリーグ初 の知的障がい者サッカーチームとして誕生。 当時を知る、元横浜F・マリノスの監督木村浩吉さんをはじめ、日ごろか らチームに寄り添うフトゥーロ監督の宮下幹生さん、フトゥーロでコーチ を務める横浜ラポールの小山良隆さん、フトゥーロメンタルサポートコー チ長田菜美子さんに密着。「人とのコミュニケーションが苦手」「練習で できたことが、場所や状況が変わるとうまく出来なくなってしまう・・・」 このような特徴を持つ選手たちを、15年かけて現在のようなチームにまと めあげた経緯と思い、そして、選手と、そばで見守ってきた親御さんにも

フットーロで過ごしたことでの変化や成長についても伺いました。
3月23日(土)に行われた、強豪「エスペランサSC」とのサッカー・
横浜市社会人リーグ3部最終戦。舞台裏で宮下幹生監督から選手へ投げか
ける言葉、メンタルサポートコーチ長田菜美子さんが陰ながら選手を支え
る様子・・・そんなチームの“絆”を感じられる瞬間に密着しました。
ナレーションを務めるのは、横浜F・マリノス専属スタジアムDJで、
「ちょうどいいラジオ」(月～木 6:00～9:00)DJの光邦。
「障がいてなんだろう・・・普通って何だろう・・・この問いかけをどのよう
に受け止めるか・・・ぜひお聴きください。

※以上の概要説明に次いで、5月26日(日)放送のダイジェスト版を聴いて審議に入りました。
各委員より、次の感想、意見等をもらいました。

<各委員講評>

- ◎ごく普通に選手が話しているのに、知的障がい者サッカーチームであるということが分からず、
単純にサッカーチームのドキュメンタリーとってしまうかも知れない。
ラジオでは、非常に伝えるのが難しいと思った
- ◎知的障がいを持っている方は、自分の意見を伝えたいときのエネルギーはもの凄いなと思う。そう
いったことが番組の中に入っていたことは、素晴らしいと思った。
- ◎志という部分で、活動自体がとても良く、インタビューの声やテンポ、作り方が丁寧で上手い。
スタッフ方々の力を感じる。
- ◎普通に聴くと知的障がいということが分からない。
- ◎登場人物が多かったので、そこが分かりづらかった。こういうチームがあることを知らせることが
目的であれば、とても良い番組である。
- ◎活動的にはとても良いことである。広がりをもってFMヨコハマがずっと繋がりをもっていくべ
きだと思う。イベントとの連動もやっていると良い。
- ◎内容が素晴らしい。このチームの存在を知ってもらうきっかけとなり、とても良いと思う。
ただ、監督や、登場人物のインタビューの話が長い。途中から聴いたら分からない。
半分くらいで良かったのかも知れない。
- ◎知的障がいてなんだろう？というきちんとしたインフォメーションがあっても良かったのか
も知れない。
- ◎番組を通して何を伝えたかったのが、ちょっとわかりづらいかも知れない。
知的障がいに対してラジオで扱う、伝えることの難しさを感じる企画内容であると思う。

◎フォーカスのあて方がちょっと違ったように思う。フトゥーロが結成して15年という長さをざっくり紹介してしまったことが、もったいなかったと思う。

◎障がいをもっていない人間が、障がいを語る時にあまり障がいに触れないように「この人たちは普通なんだ!」という風に話す傾向になる。それは目に見える時は有効だが、目に見えない時は、障がいがあることを伝えないと伝わらない。今回、障がいということに対して、過剰にオブラートに包んでしまって、障がいということを深掘りしていなかったように思う。

以上、15時50分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に： なし
対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。
を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及びその年月日

- ①令和元年8月19日、04:55から3分間、当社で放送予定。
- ②書面にて自社内に備置き
- ③令和元年8月19日、当社ホームページに掲載予定。
(<https://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項： なし

以上